

「平成27年度 全国学力・学習状況調査結果(国・県の状況)」の概要

学 力 の 状 況 (岡山県公立学校の状況)

1 調査の実施状況

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査日 平成27年4月21日(火)

(3) 岡山県の実施人数(国・公・私立の合計) <参考:国 約213万人>

	小学校【6年生対象】	中学校【3年生対象】
児童生徒数	16,743人 (16,988人)	16,690人 (17,260人)

※ 数値は、調査日に実施した児童生徒数

※ 括弧内の数値は、国・公・私立の計

2 調査の結果(公立学校)

(1) 平均正答率(H22・24年度は抽出調査、他年度は悉皆調査、H23年度は震災により未実施)

年度		国語 A			国語 B			算数 A			算数 B			理科			国算計 順位	国算理 計 順位	
		正答率	差	順位	正答率	差	順位												
小学校	H27	県	69.2	-0.8	34	64.5	-0.9	31	75.2	0.0	21	44.8	-0.2	23	59.9	-0.9	34	28	30
		全国	70.0			65.4			75.2			45.0			60.8				
	H26	県	71.4	-1.5	38	54.5	-1.0	32	77.8	-0.3	29	56.6	-1.6	38	—	—	—	38	—
		全国	72.9			55.5			78.1			58.2			—				
	H25	県	61.4	-1.3	33	47.7	-1.7	35	74.6	-2.6	45	57.2	-1.2	30	—	—	—	38	—
		全国	62.7			49.4			77.2			58.4			—				
	H24	県	80.3	-1.3	42	53.4	-2.2	43	70.1	-3.2	45	55.6	-3.3	46	59.8	-1.1	34	45	45
		全国	81.6			55.6			73.3			58.9			60.9				
	H22	県	83.8	0.5	18	77.5	-0.3	30	72.7	-1.5	42	49.1	-0.2	20	—	—	—	26	—
		全国	83.3			77.8			74.2			49.3			—				
	H21	県	68.6	-1.3	38	49.3	-1.2	35	77.6	-1.1	36	52.4	-2.4	40	—	—	—	41	—
		全国	69.9			50.5			78.7			54.8			—				
	H20	県	63.5	-1.9	38	48.9	-1.6	33	69.5	-2.7	44	49.3	-2.3	39	—	—	—	40	—
		全国	65.4			50.5			72.2			51.6			—				
	H19	県	80.6	-1.1	36	60.0	-2.0	33	80.5	-1.6	41	62.1	-1.5	30	—	—	—	39	—
		全国	81.7			62.0			82.1			63.6			—				

※ 国語、算数・数学のA問題は主として「知識」に関する問題、B問題は主として「活用」に関する問題。

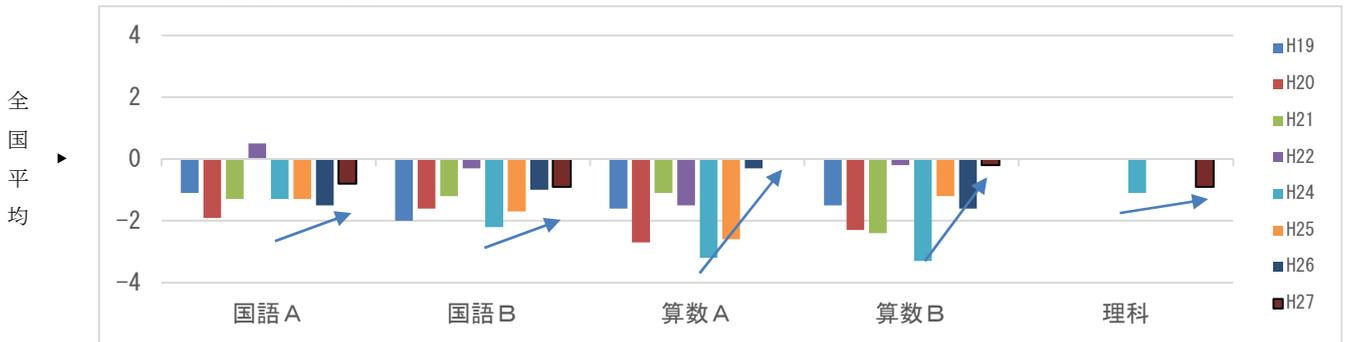
※ 理科(3年に一度実施)は、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う。

※ 表中の「差」は、全国と岡山県の平均正答率の差を示す。ただし、H22・24は、平均正答率の推計値の差。

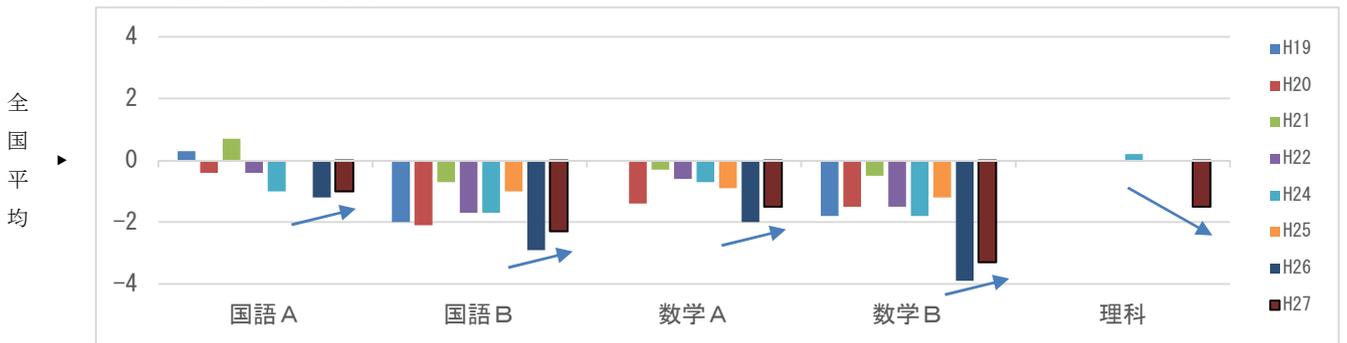
年度	国語 A	国語 B			数学 A			数学 B			理科			国数計 順位	国数理計 順位			
		正答率	差	順位														
		県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国					
H27	県	74.8	-1.0	38	63.5	-2.3	43	62.9	-1.5	39	38.3	-3.3	43	51.5	-1.5	37	41	41
	全国	75.8			65.8			64.4			41.6			53.0				
H26	県	78.2	-1.2	39	48.1	-2.9	43	65.4	-2.0	41	55.9	-3.9	45	—	—	—	42	—
	全国	79.4			51.0			67.4			59.8			—				
H25	県	76.4	0.0	30	66.4	-1.0	34	62.8	-0.9	32	40.3	-1.2	31	—	—	—	32	—
	全国	76.4			67.4			63.7			41.5			—				
H24	県	74.1	-1.0	40	61.6	-1.7	42	61.4	-0.7	31	47.5	-1.8	38	51.2	0.2	24	42	39
	全国	75.1			63.3			62.1			49.3			51.0				
H22	県	74.7	-0.4	36	63.6	-1.7	42	64.0	-0.6	29	41.8	-1.5	38	—	—	—	37	—
	全国	75.1			65.3			64.6			43.3			—				
H21	県	77.7	0.7	23	73.8	-0.7	37	62.4	-0.3	28	56.4	-0.5	33	—	—	—	31	—
	全国	77.0			74.5			62.7			56.9			—				
H20	県	73.2	-0.4	35	58.8	-2.1	43	61.7	-1.4	35	47.7	-1.5	40	—	—	—	41	—
	全国	73.6			60.9			63.1			49.2			—				
H19	県	81.9	0.3	28	70.0	-2.0	39	71.9	0.0	29	58.8	-1.8	38	—	—	—	38	—
	全国	81.6			72.0			71.9			60.6			—				

中学校

全国平均との差の推移（小学校）



全国平均との差の推移（中学校）



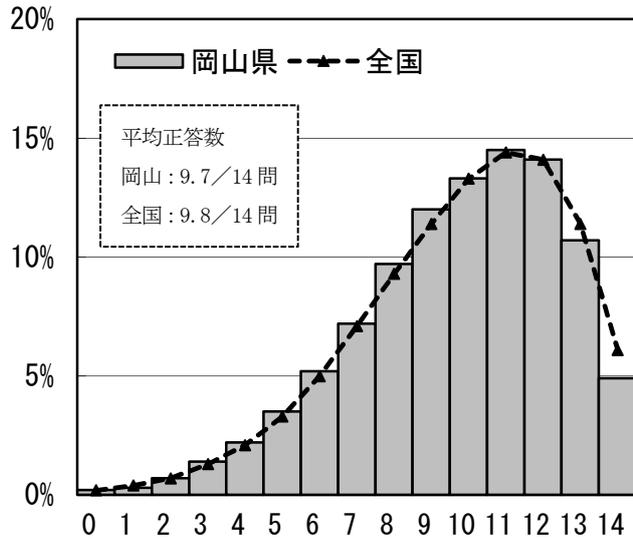
【概 要】平均正答率の状況について

- 小学校においては、全国平均との差が-0.9～0.0となり、1.0ポイント以内になった。昨年度と比較して、全ての科目において全国平均との差が縮小し、一昨年来、重点的に改善に努めた国語A・算数Aのみならず、算数Bにおいてもほぼ全国平均と同じになるなど、取組成果の広がりが見られた。
- 中学校においては、全国平均との差が-3.3～-1.0となり、昨年度に比べ、理科以外の全ての科目において全国平均との差が縮小したものの、主に活用力を問うB問題については、依然として全国平均との差が大きく、課題が残る。

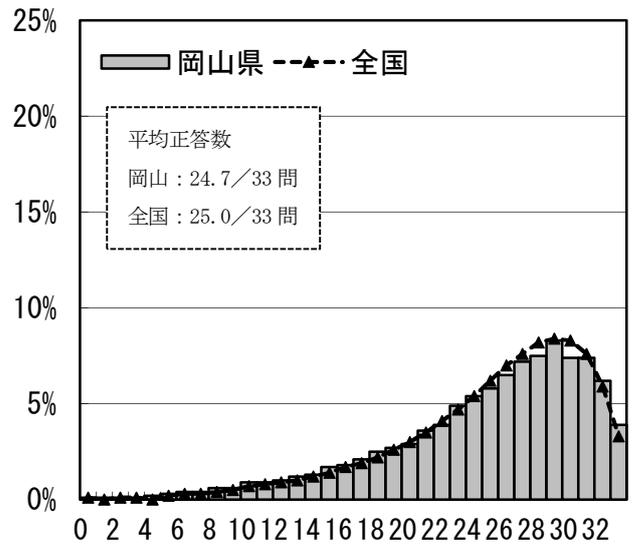
## (2) 正答数分布

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）

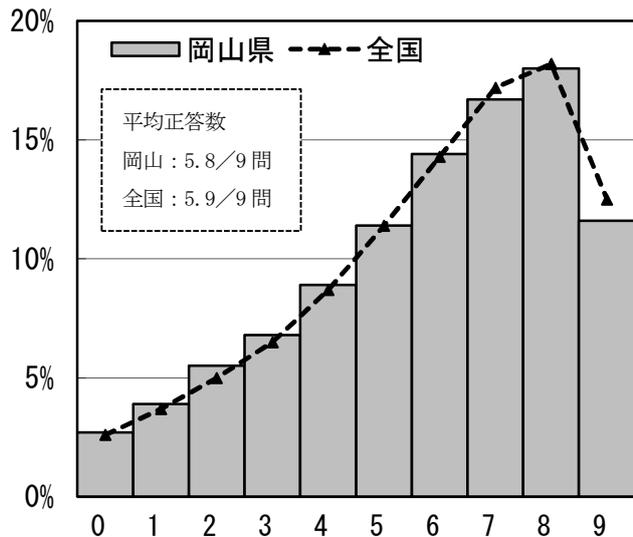
【小学校 国語A：主として知識】



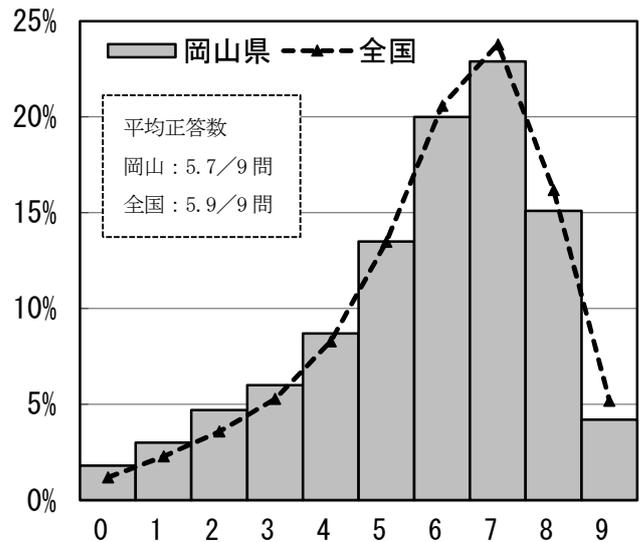
【中学校 国語A：主として知識】



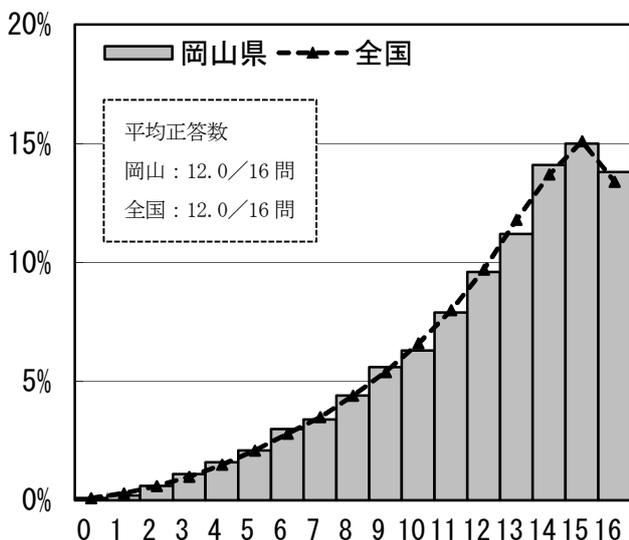
【小学校 国語B：主として活用】



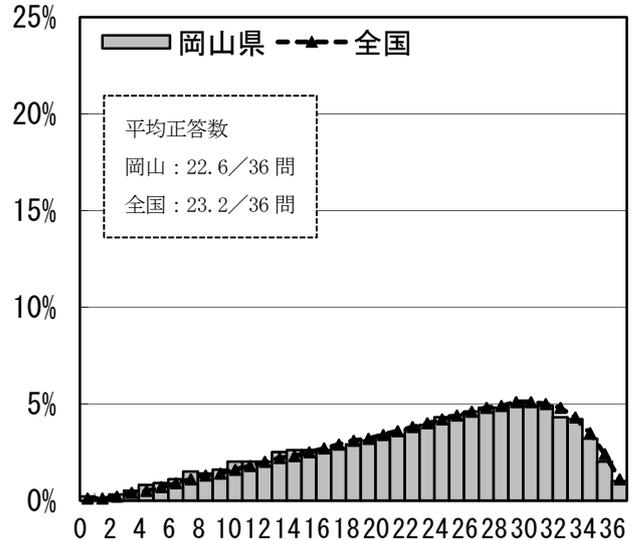
【中学校 国語B：主として活用】



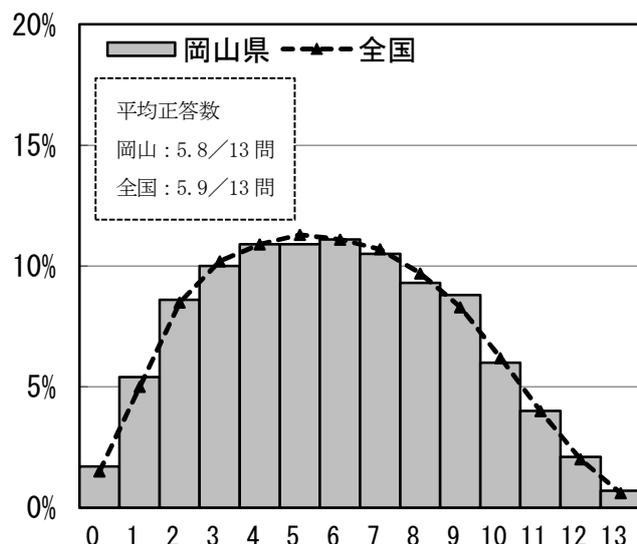
【小学校 算数A：主として知識】



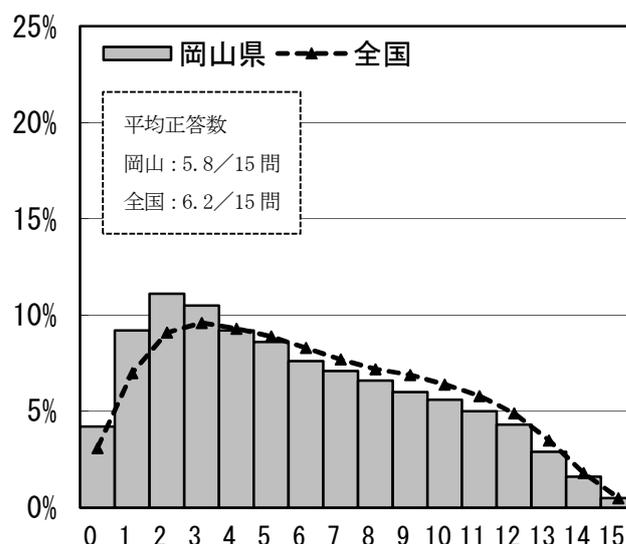
【中学校 数学A：主として知識】



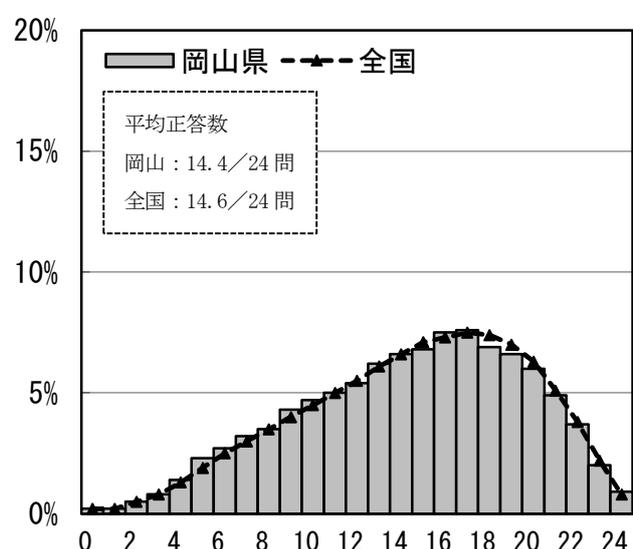
【小学校 算数B：主として活用】



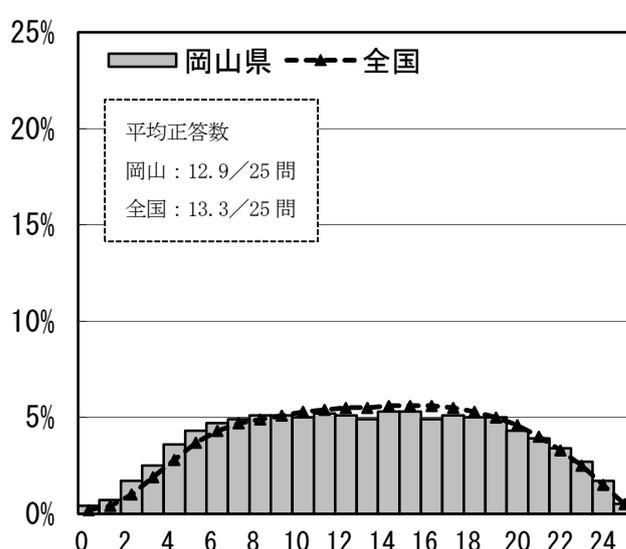
【中学校 数学B：主として活用】



【小学校 理科】



【中学校 理科】



【概要】正答数分布の状況について

- 小学校においては、ほぼ全国と同様の分布になり、平均正答数も全国平均に最大0.2問差まで近付いた。調査問題が異なるため単純比較はできないが、昨年度と比較して、多くの科目で下位層の割合が減少するなど、学力分布に改善の傾向が見られる。
- 中学校においては、全国の分布に近づいているが、全ての科目で中位層の割合が少なく、下位層の割合が多い傾向が見られ、学力分布の二極化の進行が懸念される。

### 3 学力調査の設問ごとの解答状況

#### (1) 小学校 国語A

##### 【成果の認められる設問】

設問 番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差		
		県	全国	県	全国	差	-10.0	+10.0
1二1	漢字を書く (シャワーを <u>あ</u> びる)	62.3	58.4	12.6	17.2	3.9		
1二3	漢字を書く ( <u>び</u> ょういんに行く)	76.6	74.9	3.1	4.7	1.7		

##### 【課題の認められる設問】

設問 番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差		
		県	全国	県	全国	差	-10.0	+10.0
5二	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き 抜く	15.2	19.8	7.0	7.7	-4.6		
7	応募のきまりを守っていないものを選択する	70.6	73.9	4.0	4.3	-3.3		

#### (2) 小学校 国語B

##### 【成果の認められる設問】

設問 番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差		
		県	全国	県	全国	差	-10.0	+10.0
2二	【文章】の要旨をまとめて書く	78.7	78.4	6.7	7.0	0.3		

##### 【課題の認められる設問】

設問 番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差		
		県	全国	県	全国	差	-10.0	+10.0
1二	見出しの表現の工夫についての説明として適 切なものを選択する	68.3	70.8	0.5	0.6	-2.5		
2三	楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】 を基にして書く	39.9	41.6	8.2	8.7	-1.7		

#### (3) 小学校 算数A

##### 【成果の認められる設問】

設問 番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差		
		県	全国	県	全国	差	-10.0	+10.0
2(2)	6.79 - 0.8を計算する	74.2	69.5	0.7	0.7	4.7		
4(2)	分度器の目盛りを読み、180°より大きい 角の大きさを求める	61.7	58.0	0.5	0.5	3.7		

##### 【課題の認められる設問】

設問 番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差		
		県	全国	県	全国	差	-10.0	+10.0
1(3)	小数の加法の結果を、減法を用いて確かめると き、当てはまる数値の組み合わせを書く	77.4	82.0	2.2	2.0	-4.6		
5(1)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形 が二等辺三角形になる理由として、最もふさわ しい円の特徴を選ぶ	47.2	50.6	1.5	1.6	-3.4		

(4) 小学校 算数B

【成果の認められる設問】

設問番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差		
		県	全国	県	全国	差	-10.0	+10.0
4 (1)	四つの数を四捨五入して、千の位までのおよその数に表し、それらの数の和を求める式と答えを書く	57.2	52.6	2.4	2.4	4.6		
4 (3)	目標に達するには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く	23.6	22.3	15.2	15.3	1.3		

【課題の認められる設問】

設問番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差		
		県	全国	県	全国	差	-10.0	+10.0
1 (2)	作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	51.3	54.6	0.8	1.0	-3.3		
5 (2)	示された図形の色がついた部分の面積を求める	45.2	47.8	17.8	17.3	-2.6		

(5) 小学校 理科

【成果の認められる設問】

設問番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差		
		県	全国	県	全国	差	-10.0	+10.0
3 (4)	示された器具(メスシリンダー)の名称を書く	71.8	70.7	9.9	10.7	1.1		
2 (5)	インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く	45.1	44.2	2.5	2.8	0.9		

【課題の認められる設問】

設問番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差		
		県	全国	県	全国	差	-10.0	+10.0
3 (6)	水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く	25.3	28.9	5.3	5.7	-3.6		
3 (3)	水の温まり方について、実験結果から考え直した内容を選ぶ	48.6	51.7	1.2	1.1	-3.1		

(6) 中学校 国語A

【成果の認められる設問】

設問番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差		
		県	全国	県	全国	差	-10.0	+10.0
9六	手紙の後付けの直し方とその理由として適切なものを選択する	61.5	58.2	1.5	1.2	3.3		
9三エ	適切な語句を選択する(彼女は、学級の縁の下の力持ちと言える存在だ)	73.5	70.8	1.1	0.8	2.7		

【課題の認められる設問】

設問番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差		
		県	全国	県	全国	差	-10.0	+10.0
7一	二つの回答案の構成の違いを説明したものとして適切なものを選択する	67.3	70.6	1.0	0.7	-3.3		
3一	用いられている表現の工夫として適切なものを選択する	55.4	58.3	0.5	0.4	-2.9		

(7) 中学校 国語B

【成果の認められる設問】

設問 番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差			
		県	全国	県	全国	差	-10.0	▼	+10.0
	該当なし	—	—	—	—	—			

【課題の認められる設問】

設問 番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差			
		県	全国	県	全国	差	-10.0	▼	+10.0
3三	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	28.1	31.1	17.2	11.2	-3.0			
3二	「あたりは……良かった。」の説明として適切なものを選択する	79.8	82.6	0.9	0.7	-2.8			

(8) 中学校 数学A

【成果の認められる設問】

設問 番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差			
		県	全国	県	全国	差	-10.0	▼	+10.0
14(1)	反復横とびの記録の中央値を求める	49.8	46.0	9.8	9.7	3.8			
3(3)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ	46.9	44.9	1.2	0.9	2.0			

【課題の認められる設問】

設問 番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差			
		県	全国	県	全国	差	-10.0	▼	+10.0
10(3)	比例のグラフから、xの変域に対応するyの変域を求める	45.0	49.3	19.4	17.2	-4.3			
10(1)	反比例のグラフを選ぶ	57.8	61.7	1.5	1.2	-3.9			

(9) 中学校 数学B

【成果の認められる設問】

設問 番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差			
		県	全国	県	全国	差	-10.0	▼	+10.0
1(2)	投映画面がスクリーンに収まり、できるだけ大きく映し出すことができる投映距離を選ぶ	35.5	35.1	1.2	0.9	0.4			

【課題の認められる設問】

設問 番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差			
		県	全国	県	全国	差	-10.0	▼	+10.0
2(3)	連続する5つの整数の和について成り立つ事柄を表現する	57.9	63.8	25.8	19.4	-5.9			
2(1)	連続する3つの整数が19, 20, 21のとき、それらの和が中央の整数の3倍になるかどうかを確かめる式を書く	73.3	78.8	9.2	6.0	-5.5			

(10) 中学校 理科

【成果の認められる設問】

設問番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差			
		県	全国	県	全国	差	-10.0	▼	+10.0
8 (1)	背骨のある動物の名称を答える	65.0	63.9	11.5	10.4	1.1			
3 (2)	上空と地上の気温差による降水量の違いを調べる装置として適切なものを選ぶ	39.7	39.0	0.9	0.8	0.7			

【課題の認められる設問】

設問番号	設問の概要	正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の全国 (▼) との差			
		県	全国	県	全国	差	-10.0	▼	+10.0
8 (3)	課題に対して適切な(課題に正対した)考察になるよう修正する	42.6	47.4	30.7	25.5	-4.8			
7 (3)	キウイフルーツの上に置いたゼリーの崩れ方に違いが見られたという新たな疑問から、適切な課題を記述する	53.1	57.3	32.7	27.8	-4.2			

【概 要】設問ごとの平均正答率等の状況について

- 個別の設問において、昨年度は最大で－7.8ポイントあった全国平均との差が、本年度は－5.9ポイントまで縮まるなど、全体的な底上げが図られている。
- 小学校国語Aにおいて、漢字の読み書きの設問については、全国平均を上回る設問数が増えるなど改善が見られるが、引用など表現の工夫を捉える設問や文章の中から必要な情報を読み取る設問について全国平均との差が大きく、課題が見られる。
- 小学校算数Aにおいて、多くの設問で全国平均との差が縮小するなど改善が見られる。特に、これまで課題であった小数や分数の計算問題など、基礎的・基本的な知識・技能を問う設問について、重点的に補充・振り返りに取り組んだ結果、平均正答率が全国平均を上回るなど、取組の成果が見られる。
- 小学校算数Bにおいて、課題であった単位量当たりの大きさや割合の問題で全国平均を上回り、その他の設問においても差が縮小するなど、改善が見られるが、図形の問題に関しては、課題が見られる。
- 小学校理科においては、実験器具(メスシリンダー)の名称を問う設問など、基礎的・基本的な内容については、全国平均を上回る設問もあるが、実験結果や資料から考察し、自分の考えを記述したり改善したりする設問について、全国平均との差が大きく、課題が見られる。
- 中学校において、多くの設問で平均正答率が全国平均を下回っているが、国語Aの文脈に即した適切な語句を選択する設問や手紙の書き方、数学Aの連立二元一次方程式の立式など基礎的な知識を問う設問で全国平均を上回るなど、改善の傾向が見られる。
- 中学校国語B・数学Bにおいては、ほとんどの設問で全国平均を下回り、依然として課題がある。
- 小中学校ともに、全ての科目において、目的に応じて複数の内容を関連付けて自分の考えを整理したり、判断する根拠を説明・記述したりするなど、思考力・表現力を必要とする設問に、依然として課題がある。
- 無解答率については、昨年度まで、全設問数の半数以上が全国平均を上回るなど厳しい状況にあったが、小学校国語Bの全設問、算数Bの13問中7問で全国平均以下となるなど、小学校において改善の傾向が見られる。

# 学 習 の 状 況（岡山県公立学校の状況）

## 4 児童生徒質問紙調査の結果から見える特徴

(1) 肯定的回答の割合が全国平均より高い回答率(%)を示した上位3項目 ※括弧内は、前回調査結果

### 【小学校】

- ・ 授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思う。
- ・ 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。
- ・ 授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う。

岡山県	全国	差
94.1 (新規)	87.1 (新規)	+7.0
81.8 (77.9)	75.3 (71.9)	+6.5
90.8 (87.8)	86.3 (82.0)	+4.5

### 【中学校】

- ・ 授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う。
- ・ 昼休みや放課後、休日に本を読んだり、借りたりするために、学校や地域の図書館（室）に週1回以上行く。
- ・ 授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思う。

岡山県	全国	差
84.8 (75.2)	79.7 (71.5)	+5.1
12.6 (12.1)	8.2 ( 8.0)	+4.4
77.1 (新規)	73.7 (新規)	+3.4

(2) 肯定的回答の割合が全国平均より低い回答率(%)を示した下位3項目 ※括弧内は、前回調査結果

### 【小学校】

- ・ 「総合的な学習」の授業では、自ら課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- ・ 学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思う。
- ・ 土日や学校が休みの日、1日当たり1時間以上勉強している（塾や家庭教師を含む）。

岡山県	全国	差
63.1 (61.2)	65.8 (63.8)	-2.7
78.2 (新規)	80.5 (新規)	-2.3
55.1 (54.7)	56.7 (55.9)	-1.6

### 【中学校】

- ・ 家で、学校の授業の復習をしている。
- ・ 平日1日当たり1時間以上、家庭学習をする（塾や家庭教師を含む）。
- ・ 土日や学校が休みの日、1日当たり1時間以上、家庭学習をする（塾や家庭教師を含む）。

岡山県	全国	差
40.5 (39.8)	52.0 (50.4)	-11.5
59.0 (58.8)	69.0 (67.9)	-10.0
59.2 (59.1)	68.7 (67.4)	-9.5

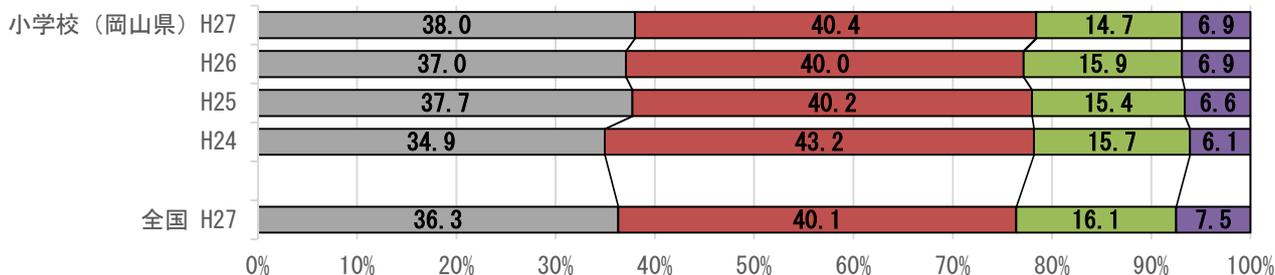
### (3) 特徴的な項目の推移

自尊感情、学習意欲、学習方法 等

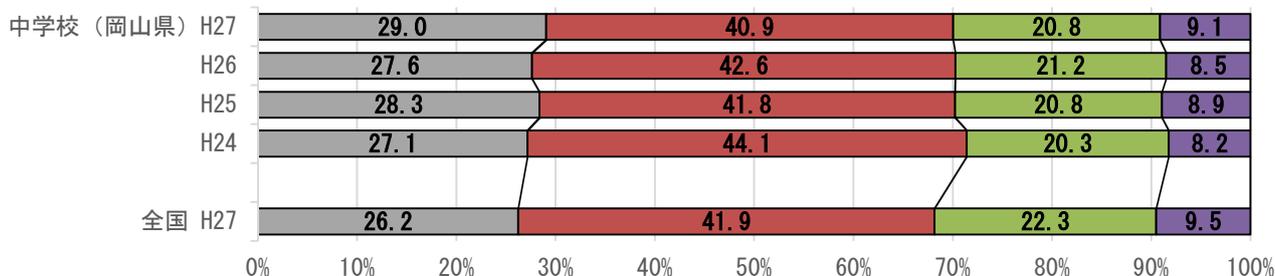
※ 数値の合計が100%にならないのは、「その他」「無回答」の割合を除いて表示しているため。

- 自分には、よいところがあると思いますか

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

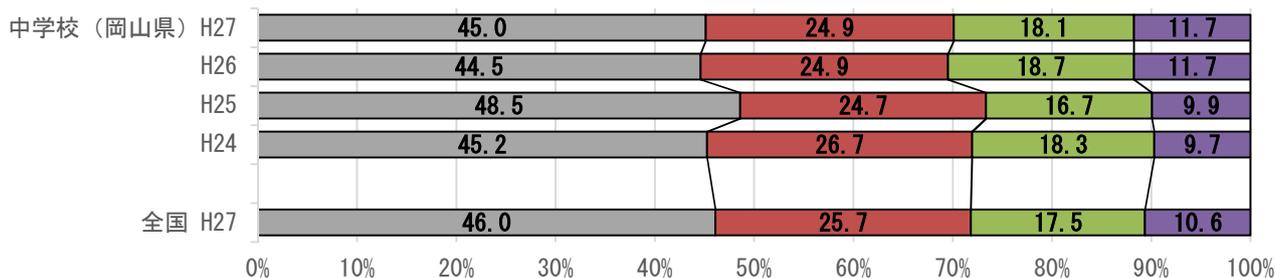


- 将来の夢や目標を持っていますか

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

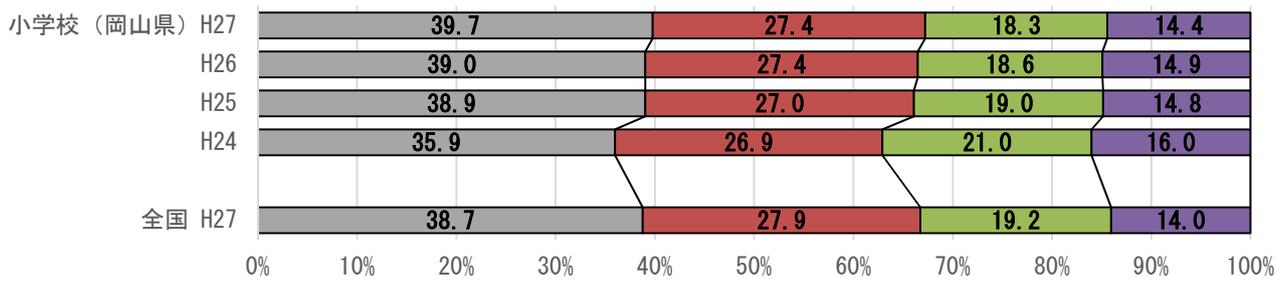


□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

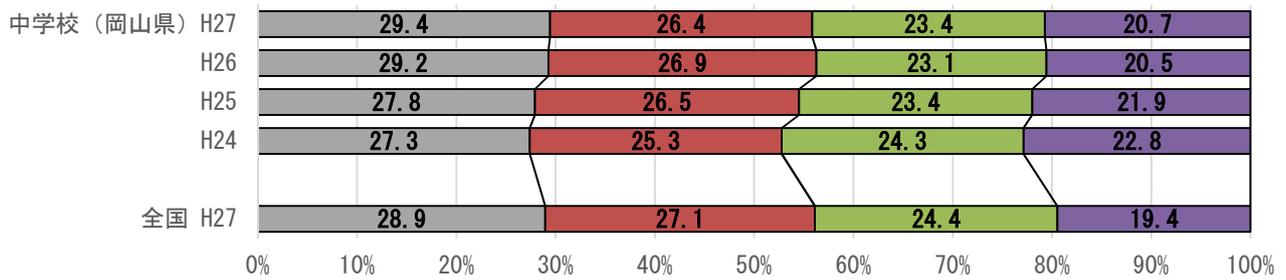


● 算数（数学）の勉強は好きですか

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

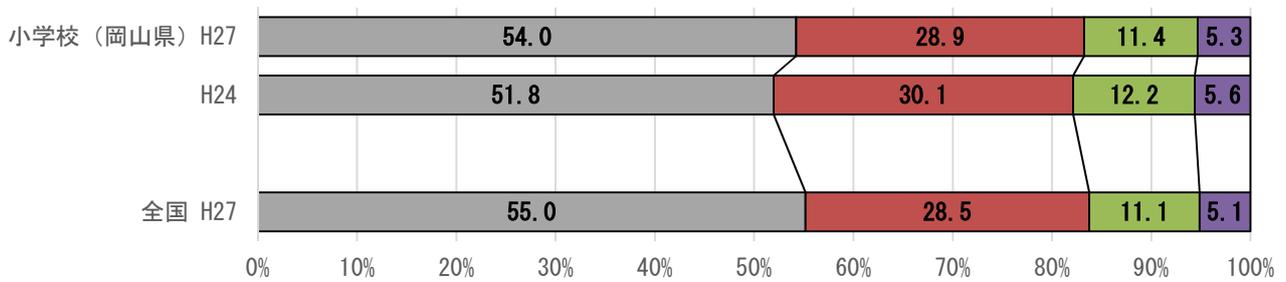


□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

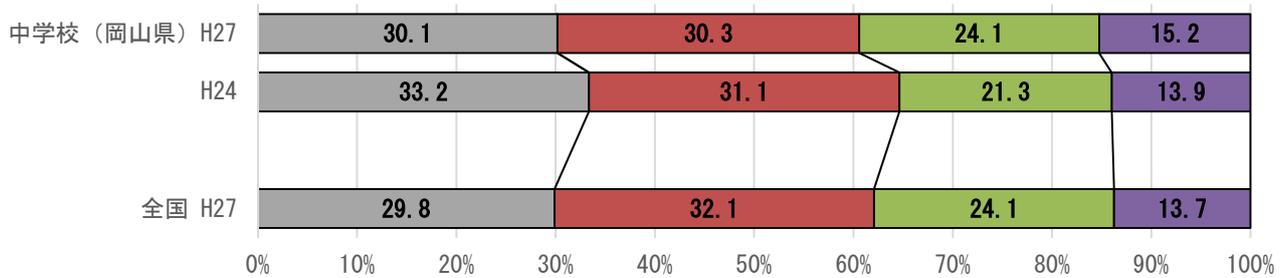


● 理科の勉強は好きですか

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

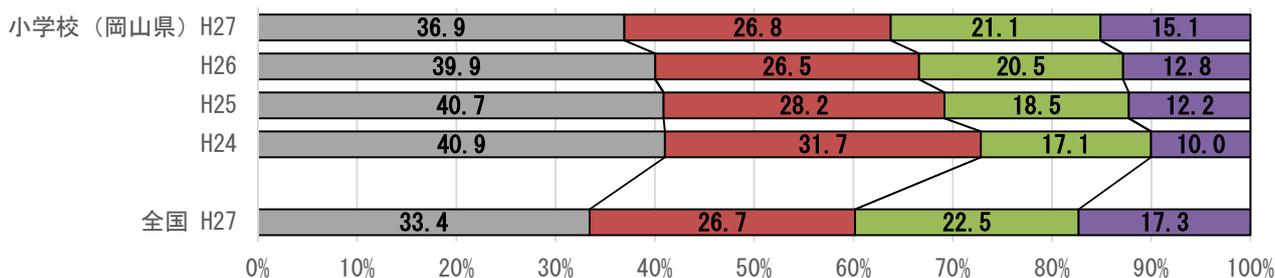


□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

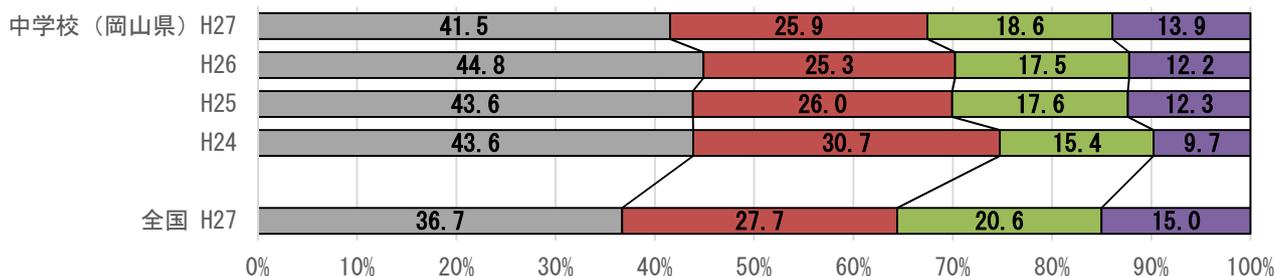


● 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



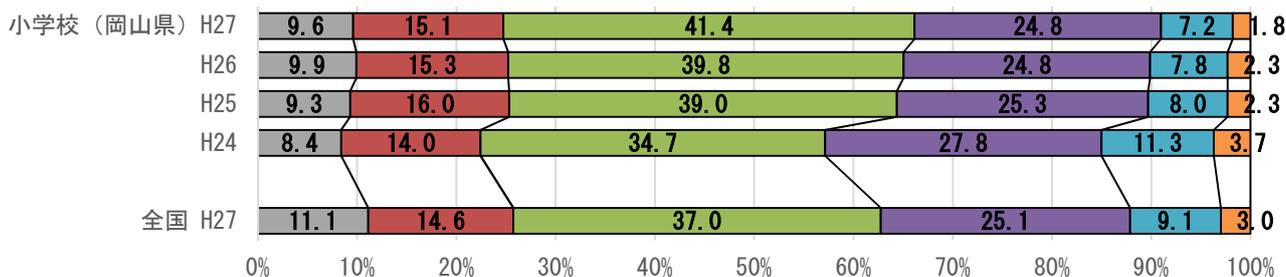
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



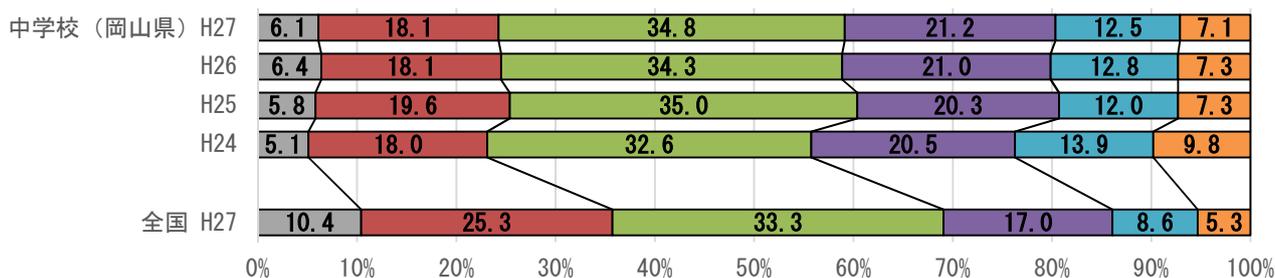
家庭学習の状況 等

● 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間を含む）

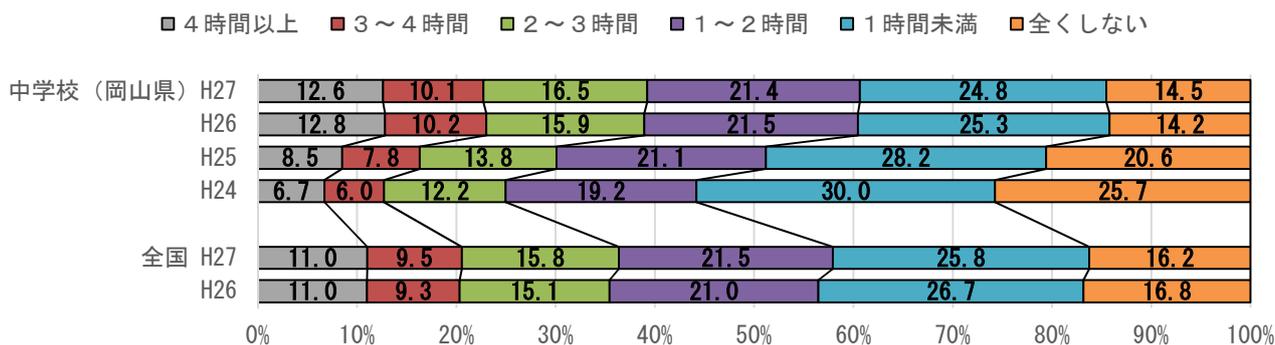
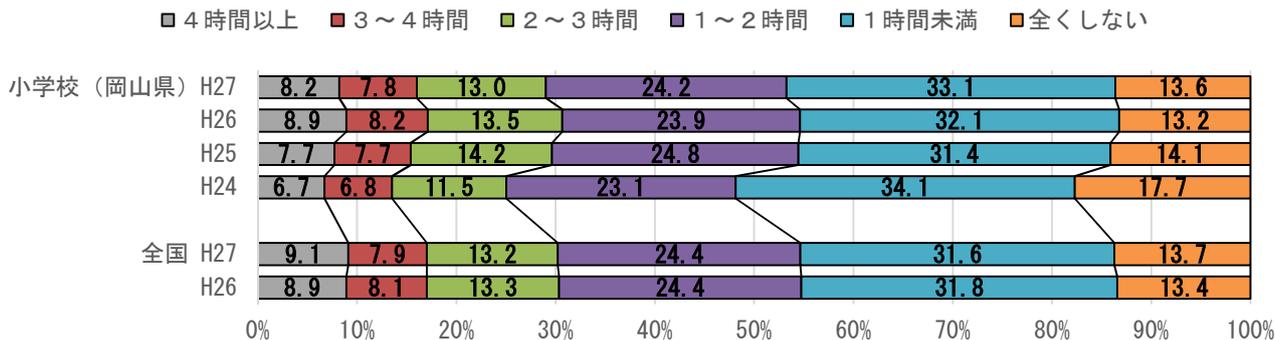
■3時間以上 ■2～3時間 ■1～2時間 ■30分～1時間 ■30分未満 ■全くしない



■3時間以上 ■2～3時間 ■1～2時間 ■30分～1時間 ■30分未満 ■全くしない



- 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか



※ 平成26年度から「携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム」もこの設問に含まれる

### 【概要】児童生徒質問紙調査結果の状況について

- 小中学校とも自分にはよいところがある、授業のはじめの目標（めあて・ねらい）の提示などについて、概ね全国に比べ肯定的な回答の割合が高いものの、将来の夢や目標を持っていると答えた児童生徒の割合が全国平均よりやや低いなど、課題も見られる。
- 小学校では、平日の授業以外に1時間以上学習すると回答した児童の割合が増加するなど改善が見られるが、中学校では、1時間以上学習する生徒の割合が微増しているものの、全国平均を大きく下回るなど依然として課題がある。
- 中学校において、理科の勉強が好きであると答えた生徒の割合が減少しており、学力調査の結果と併せると、授業改善の必要性が認められる。
- 小学校ではテレビゲームを1時間以上すると回答した生徒の割合が減少し、中学校においてもほぼ前年度と同じになり増加が抑止されるなど、スマートフォン等の使用制限の取組の効果が一定程度認められるが、依然として使用時間は全国平均より多く、家庭学習時間への影響が懸念される。
- 学校の指導により、小中学校ともに、書くことに対する児童生徒の苦手意識は大きく改善しているが、文章で説明したり、うまく伝わるように工夫して発表したりすることと併せて、依然として全国平均よりも高く、言語活動に関わる指導等についてより一層の改善が求められる。

## 5 学校質問紙調査の結果から見える特徴

(1) 肯定的回答の割合が全国平均より高い回答率(%)を示した上位3項目 ※括弧内は、前回調査結果

### 【小学校】

- ・ コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行った(3教科平均)。
- ・ 学校図書館を活用した授業を計画的に行った。
- ・ ボランティア等による授業サポート(補助)をよく行った。

岡山県	全国	差
72.8 (50.9)	48.3 (30.6)	+24.5
61.4 (59.3)	47.6 (47.0)	+13.8
22.2 (16.0)	12.4 (12.2)	+ 9.8

### 【中学校】

- ・ コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行った(3教科平均)。
- ・ 理科の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えた。
- ・ 全国調査の自校結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った。

岡山県	全国	差
57.2 (32.9)	32.7 (16.2)	+24.5
88.2 (78.5)	73.2 (67.1)	+15.0
97.0 (87.1)	83.9 (75.6)	+13.1

(2) 肯定的回答の割合が全国平均より低い回答率(%)を示した下位3項目 ※括弧内は、前回調査結果

### 【小学校】

- ・ 職場見学や職場体験活動を行った。
- ・ 理科の指導として、発展的な学習の指導を行った。
- ・ 長期休業日を利用した補充的な学習サポートを延べ5日以上実施した。

岡山県	全国	差
24.7 (28.8)	42.0 (44.9)	-17.3
34.0 (28.4)	47.2 (42.2)	-13.2
16.7 (18.8)	27.6 (28.6)	-10.9

### 【中学校】

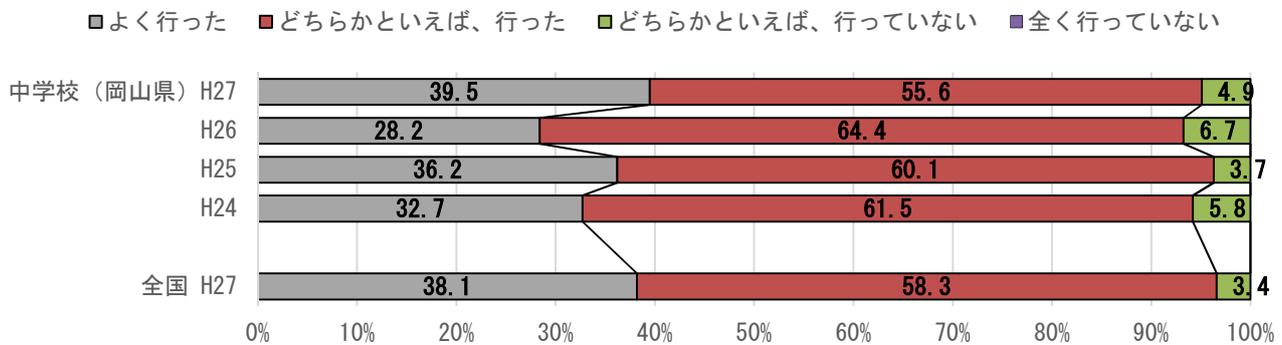
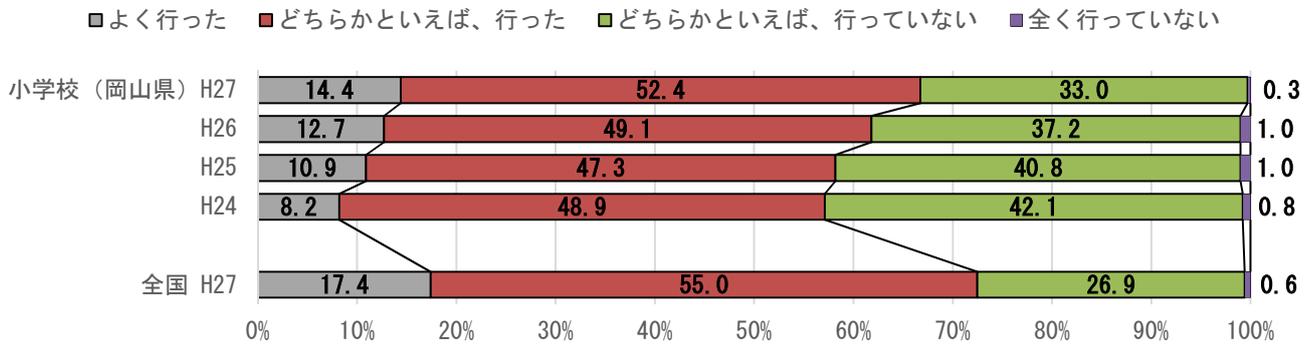
- ・ 長期休業日を利用した補充的な学習サポートを延べ5日以上実施した。
- ・ 理科の指導として、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行った。
- ・ 理科の指導として、観察や実験のレポートの作成方法に関する指導を行った。

岡山県	全国	差
39.5 (47.3)	57.3 (60.4)	-17.8
51.2 (50.3)	65.8 (61.8)	-14.6
67.2 (新規)	76.9 (新規)	-9.7

### (3) 特徴的な項目の推移

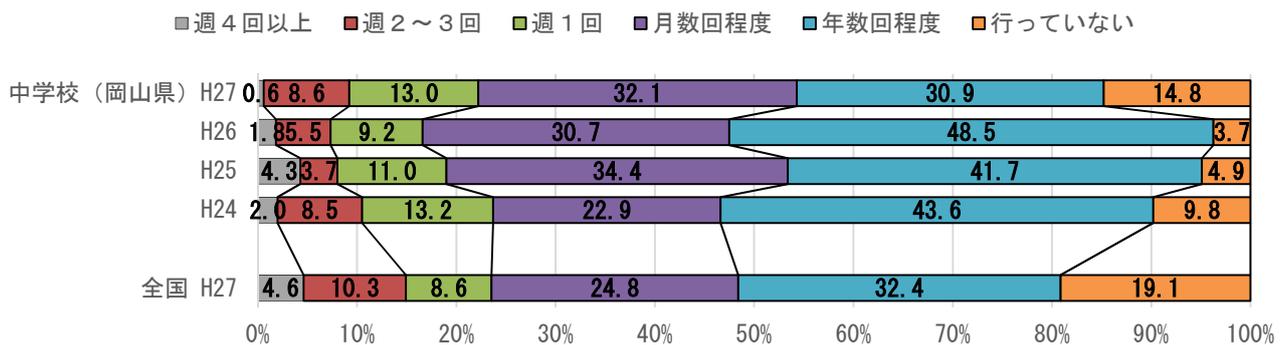
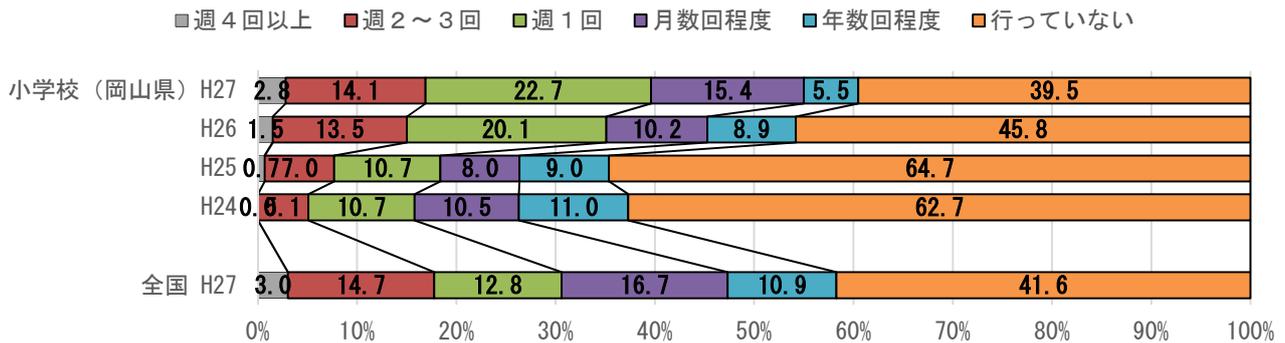
#### キャリア教育 等

- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

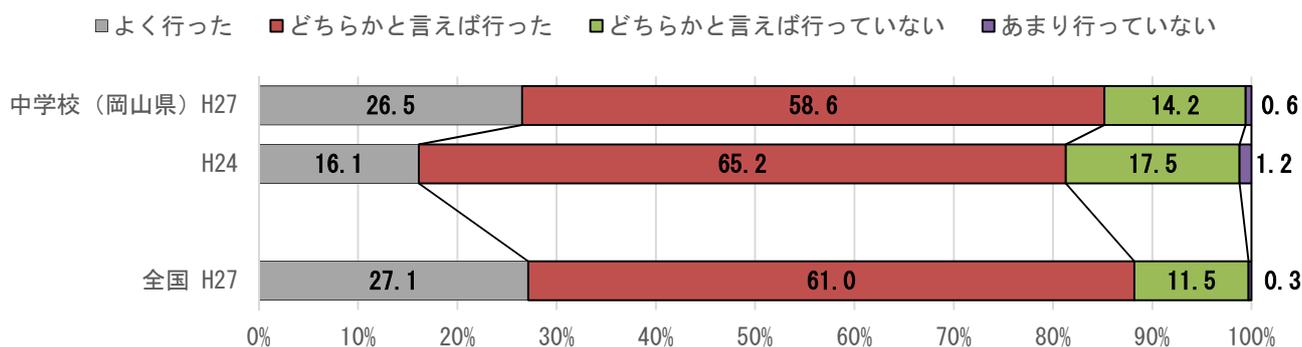
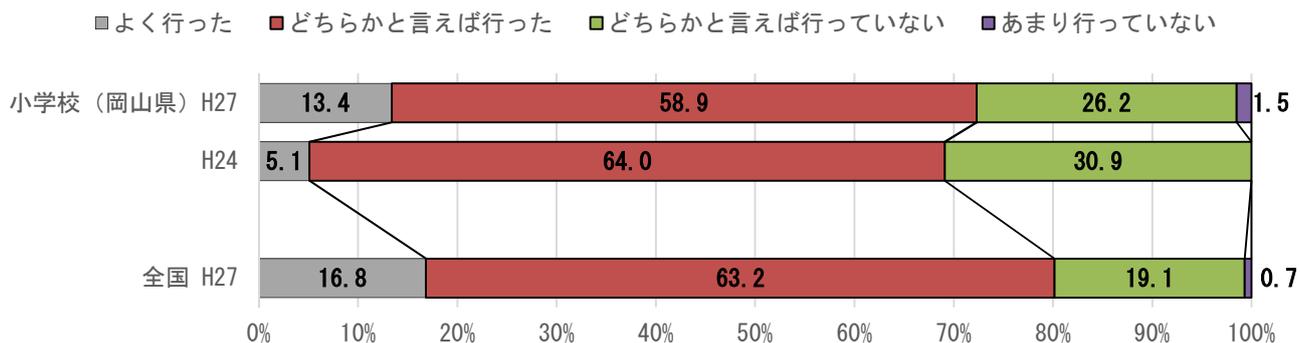


#### 学力向上に向けた取組 等

- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度に、放課後を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか

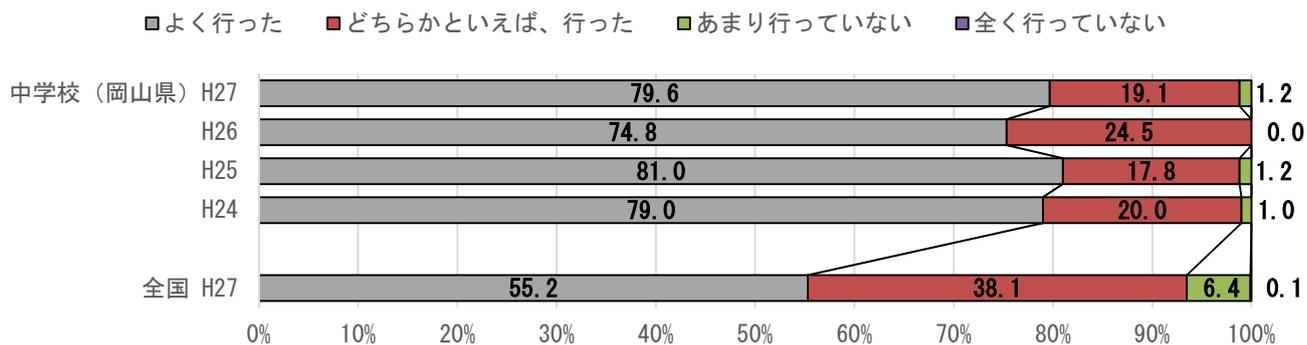
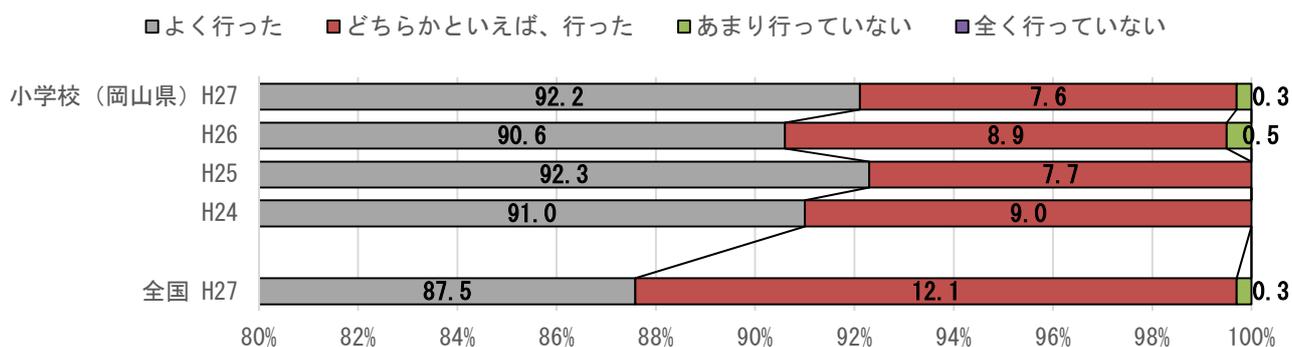


- 調査対象学年の児童（生徒）に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



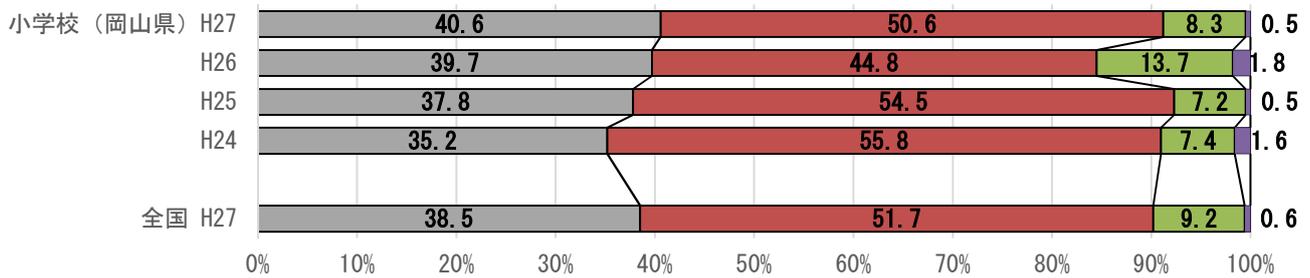
## 家庭学習、学習規律 等

- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、算数（数学）の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか

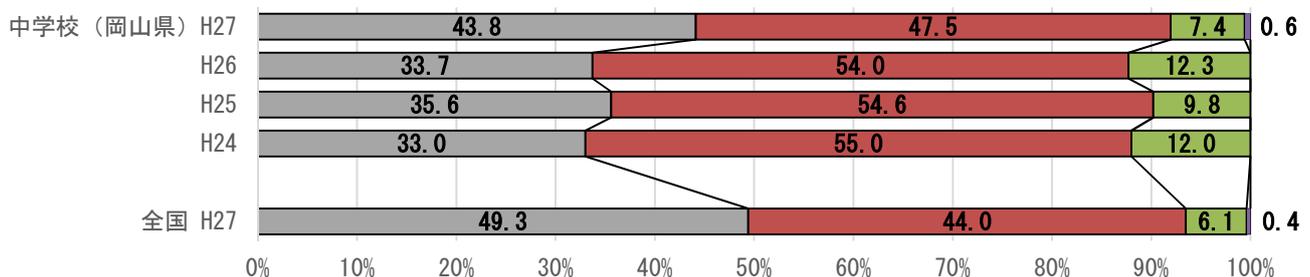


● 調査対象学年の児童（生徒）は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

□ そのとおりだと思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない



□ そのとおりだと思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない



**【概要】学校質問紙調査結果の状況について**

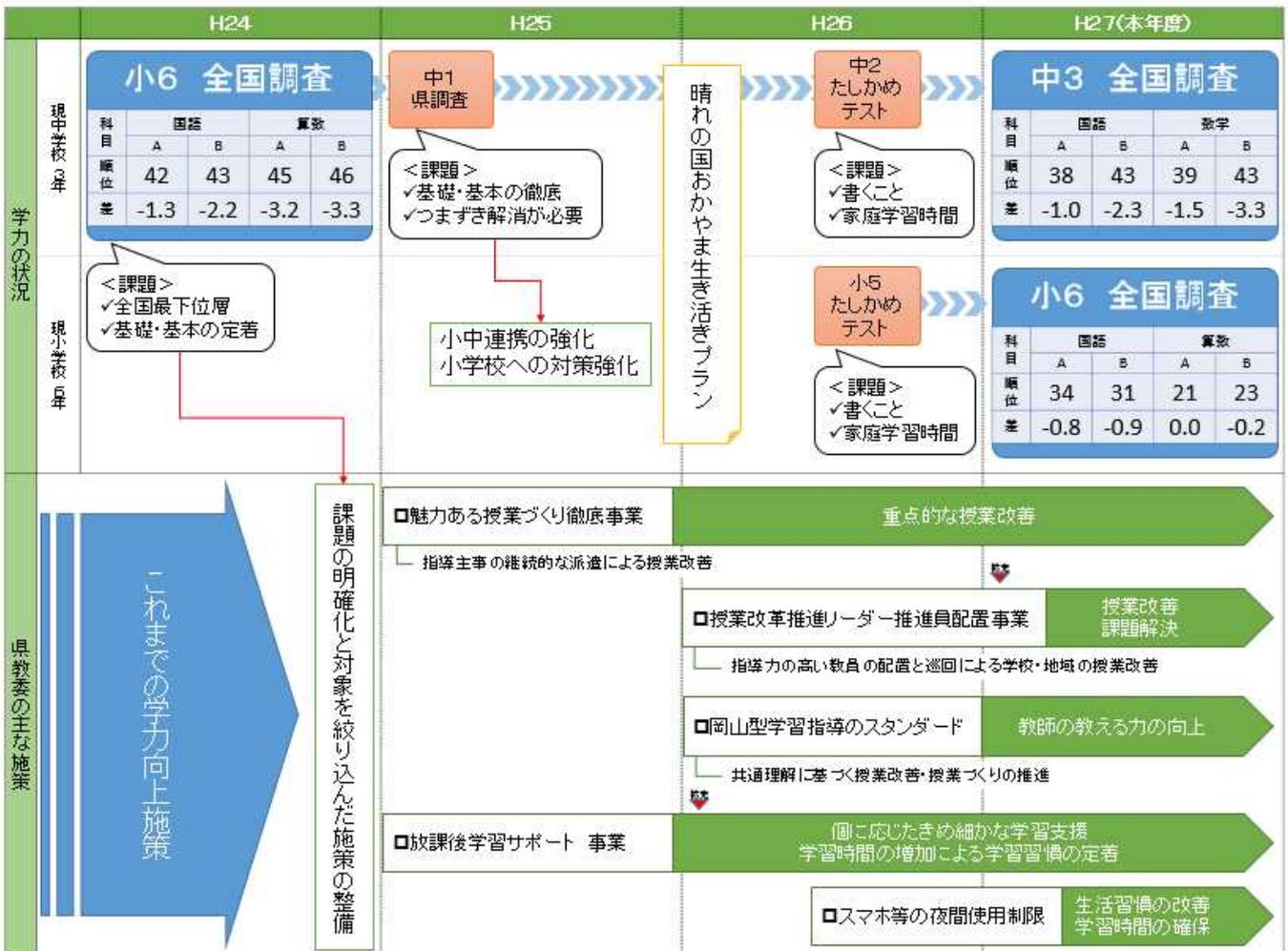
- 小中学校ともに、放課後等を利用した補充学習を月数回程度以上行う学校の割合が全国平均を上回るなど、学力向上に向けた取組が進んでいる一方、中学校においてまったく行っていないと回答した学校の割合が増加しており、取組状況について詳細な分析が必要である。
- 児童生徒に対する理科の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行う割合が増加するなど、一定の改善は認められるものの、肯定的回答の割合は依然として全国平均よりも低く、今後、一層の取組推進が求められる。
- 小中学校ともに、理科を除く全ての教科において、家庭学習の課題（宿題）を与えている割合は全国平均よりも高いものの、学力調査結果につながっていない状況もあり、今後、課題（宿題）の内容や与え方、評価の方法等について検討が必要である。
- 落ち着いた学習環境づくりについては、ほぼ全国平均と同じ割合にあるが、特に中学校での改善が顕著に見られており、生徒の学力面への好影響が期待される。

# これまでの取組成果と今後の取組 等

## 6 県教育委員会の今後の取組等

### (1) 本年度の調査対象児童生徒の結果推移とこれまでの県教育委員会の取組

- 平成24年度の結果を受け、課題を明確化し、取組内容を「落ち着いた学習環境づくり」「分かる授業づくり」「学習習慣の定着」に焦点化し、特に小学校に注力して取組を進めてきた結果、小学校で一定の成果が見られる。一方、中学校は全国平均との差は縮小傾向にあるが、依然として厳しい結果となっている。
- 学力面では、「魅力ある授業づくり徹底事業」による重点的・継続的な支援や「授業改革推進リーダー・推進員配置事業」による学校・地域ごとの課題への対応を行った。特に、「岡山型学習指導のスタンダード」の作成・配付による全教師の共通理解に基づく授業改善を進めてきた結果、めあて・まとめ等に関する項目で大幅な改善が見られ、基礎的・基本的な学力の向上につながったものと考えられる。
- 学習習慣に関しては、「放課後学習サポート事業」の実施や拡充等により、小学校においては、全体として家庭学習時間が増加するとともに、家庭学習30分未満の学習習慣が身に付いていない児童の割合も全国平均以下に大幅に改善するなど、生活習慣づくり、学習習慣づくりに成果が見られた。
- 中学校においては、本年度中3生徒が小学校6年生であった平成24年度の結果と比べて、基礎・基本の問題において、正答率の全国平均との差が減少するなど、授業改善に関する一定の成果は見られるものの、家庭学習やスマートフォン等の使用時間などについて課題があり、今後は、更なる授業改善に努めるとともに、生活習慣や学習習慣の確立に向け、学校・家庭・地域が連携した取組の一層の推進が必要である。



<参考>これまでの取組の成果指標となる質問紙調査結果

【学校質問紙】学習規律の維持の徹底をよく行っている。

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (現況値)	対H 2 4増減
小学校	59.4% <全国: 59.4%>	61.2% ▶	58.3% ▶	59.4% <全国: 58.0%>	±0.0% <全国: -1.4%>
中学校	53.9% <全国: 61.1%>	55.2% ▶	51.5% ▶	61.7% <全国: 63.9%>	+7.8% <全国: +2.8%>

【学校質問紙】授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的によく行った。

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (現況値)	対H 2 5増減
小学校	項目なし	82.1% <全国: 60.4%>	85.2% ▶	87.7% <全国: 71.1%>	+5.6% <全国: +10.7%>
中学校	項目なし	54.6% <全国: 43.7%>	65.0% ▶	72.8% <全国: 56.3%>	+18.2% <全国: +12.6%>

【学校質問紙】児童（生徒）は授業中の私語が少なく、落ち着いている。

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (現況値)	対H 2 4増減
小学校	91.0% <全国: 90.7%>	92.3% ▶	84.5% ▶	91.2% <全国: 90.2%>	+0.2% <全国: -0.5%>
中学校	88.0% <全国: 91.6%>	90.2% ▶	87.7% ▶	91.3% <全国: 93.3%>	+3.3% <全国: +1.7%>

【児童生徒質問紙】授業の内容はよく分かる。

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (現況値)	対H 2 4増減	
小学校	国語	81.8% <全国: 83.1%>	79.2% ▶	78.3% ▶	81.6% <全国: 82.0%>	-0.2% <全国: -1.1%>
	算数	76.3% <全国: 79.1%>	80.5% ▶	79.8% ▶	80.8% <全国: 81.0%>	+4.5% <全国+1.9%>
	理科	84.3% <全国: 86.0%>	— ▶	— ▶	87.7% <全国: 87.9%>	+3.4% <全国: +1.9%>
中学校	国語	70.7% <全国: 71.2%>	71.5% ▶	70.4% ▶	72.6% <全国: 74.3%>	+1.9% <全国: +3.1%>
	数学	62.6% <全国: 64.9%>	67.7% ▶	69.7% ▶	69.4% <全国: 71.6%>	+6.8% <全国: +6.7%>
	理科	65.3% <全国: 64.1%>	— ▶	— ▶	64.7% <全国: 66.8%>	-0.6% <全国: +2.7%>

【学校質問紙】放課後を利用した補足的な学習サポートを週1回以上実施した。

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (現況値)	対H 2 4増減
小学校	15.8% <全国: 29.5%>	18.4% ▶	35.1% ▶	39.6% <全国: 30.5%>	+23.8% <全国: +1.0%>
中学校	23.7% <全国: 22.6%>	19.0% ▶	16.5% ▶	22.2% <全国: 23.5%>	-1.5% <全国: +0.9%>

【学校質問紙】 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った。

		H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (現況値)	対H 2 4増減
小学校	国語	95.1% <全国:94.9%>	97.5%		97.7% <全国:96.5%>	+3.5% <全国:+1.8%>
	算数	93.3% <全国:94.6%>	97.0%	96.5%		
中学校	国語	78.2% <全国:71.0%>	80.3%		86.4% <全国:83.9%>	+8.5% <全国:+13.5%>
	数学	77.7% <全国:69.8%>	78.5%	82.2%		

【児童生徒質問紙】 授業以外に平日1日当たり1時間以上の家庭学習をする。

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (現況値)	対H 2 4増減
小学校	57.1% <全国:59.5%>	64.3%	65.0%	66.1% <全国:62.7%>	+9.0% <全国:+3.2%>
中学校	55.7% <全国:66.4%>	60.4%	58.8%	59.0% <全国:69.0%>	+3.3% <全国:+2.6%>

【児童生徒質問紙】 平日1日当たり3時間以上、ゲームをする。

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (現況値)	対H 2 4増減
小学校	13.5% <全国:12.6%>	15.4%	17.1%	16.0% <全国:17.0%>	+2.5% <全国:+4.4%>
中学校	12.7% <全国:11.4%>	16.3%	23.0%	22.7% <全国:20.5%>	+10.0% <全国:+9.1%>

## (2) 本調査結果を受けて直ちにに取り組むこと

- ① 市町村別結果等、詳細な分析の実施及び公表
  - ・ 市町村別結果を含む詳細データの受理及び分析作業開始（8月25日）
  - ・ 市町村別結果の公表（9月上旬予定）
  - ・ 市町村による改善プランを踏まえた詳細な分析等の公表（10月頃予定）
- ② 情報の共有と意見交換及び改善に向けた取組の推進
  - ・ 市町村教育委員会との意見交換及び課題に応じた支援
  - ・ 小中学校長会との意見交換
  - ・ 学力調査官を招聘しての授業研究会等の実施
  - ・ 分析・改善プラン作成支援ツールの配付
  - ・ 各学校での設問ごとの課題の明確化と課題解決に向けた指導改善の促進・支援
  - ・ 各市町村教育委員会・学校の調査結果を踏まえた改善プランの集約、プランに基づく取組の検証・支援
- ③ 情報収集及び成果の発信・普及
  - ・ 市町村・学校での成功事例等の普及
  - ・ 成果を上げている他都道府県の取組についての情報収集及び発信